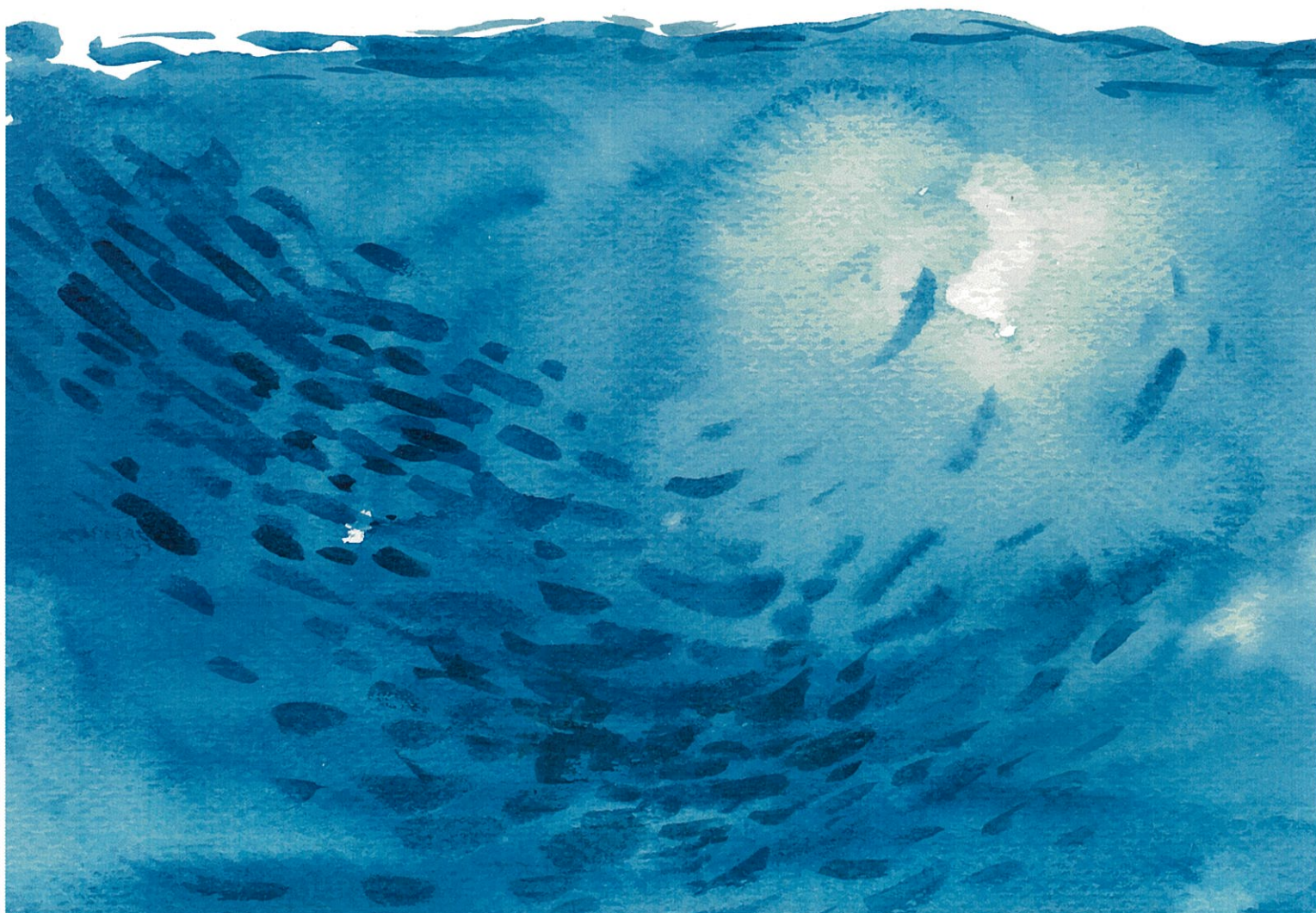


One
ACTION
START TODAY

今日から始めるワンアクション

「たにんごと」から「じぶんごと」
宮城県沿岸部でビーチクリーンを中心に活動をする人が
普段の生活で、心掛けている大切なこと。
誰しもが気軽に日常に取り入れられるワンアクション。

そう。ちょっとやるが、全部にいい。



久保田
靖朗
さん

私が「今日から始めるワンアクション」は
いつもの好きな場所
ちょっとだけ歩いて
出合った吸い殻 一つだけ拾ってみる
また一つ町が好きになる

全然難しいことじゃない、たくさんの知識は必要ない。
ただちょっと拾ってみる、そしたらその場所が好きになる。
知ったらもう戻れない。
その癖が連鎖し、平和に繋がる。

SEVEN BEACH PROJECT 実行委員長
活動地域：七ヶ浜町菖蒲田浜
活動内容：感じて考えるビーチクリーン、
Saturday Beach Clean、SEVEN BEACH Fes.



One
ACTION
START TODAY

私が「今日から始めるワンアクション」は
プラスチック製品をなるべく使わない

海に漂うプラスチックごみを
魚が誤飲してしまったりしています。
石巻、女川は水産業が盛んな場所で
漁業資源が豊富です。
マイクロプラスチックが増えると、
魚に影響してしまったり、
次世代の子どもたちにも
影響が出てしまいます。

一般社団法人 石巻海さくら 元代表理事
活動地域：石巻市
活動内容：umihama そうじ、
シュノーケル教室、水中の瓦礫撤去



高橋
正祥
さん

庄子
隆弘
さん

私が「今日から始めるワンアクション」は
身近な自然に目を向けてみよう

通勤や通学途中、道端に咲いている花や、
いつもは通り過ぎる小さな公園に目を向けてみることで、
普段気付かない季節の変化を感じることができます。
清掃や見守りによって
そうした自然が保たれていることへの気づきが、
地域への愛情を育てていくのではないのでしょうか。

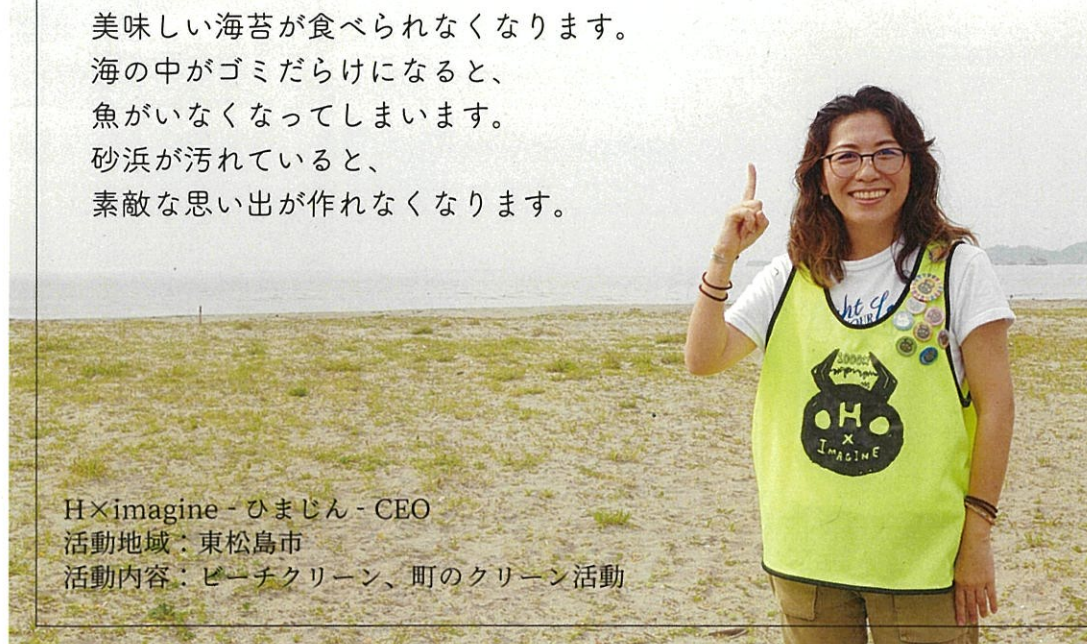


海辺の図書館 館長
活動地域：仙台市若林区荒浜
活動内容：地域の場づくりや記憶・記録の継承、
ビーチクリーン

One
ACTION
START TODAY

私が「今日から始めるワンアクション」は
「海」のじぶんゴト化計画はじめました

地球温暖化が進むと、
美味しい海苔が食べられなくなります。
海の中がゴミだらけになると、
魚がいなくなってしまう。
砂浜が汚れていると、
素敵な思い出が作れなくなります。



関口
雅代
さん

H×imagine - ひまじん - CEO
活動地域：東松島市
活動内容：ビーチクリーン、町のクリーン活動

細川 慎治 さん

私が「今日から始めるワンアクション」は 砂を大切にしよう

七ヶ浜町でも海岸浸食が進んでいる場所があり
波に大量の砂が持って行かれて、
海が近くなっている場所もあります。
砂浜の砂が無くなってしまうと、
海水浴場も閉鎖されてしまう可能性があります。
楽しい海を守るために、
海からあがる時は、砂をよくはらいましょう。



SEVEN BEACH PROJECT ビーチクリーンリーダー
活動地域：七ヶ浜町菖蒲田浜
活動内容：感じて考えるビーチクリーン、
Saturday Beach Clean、SEVEN BEACH Fes

One
ACTION
START TODAY

私が「今日から始めるワンアクション」は 人以外の生き物を気にしてみよう

4、5月あたりからウミネコは巣をつくり抱卵します。
巣をよくみると枝などの自然物の他に
ビニールテープのようなプラスチックごみを
巣材にしているのをみかけます。
鳥がリサイクルしています。
鳥に限らず、どんなものを食べているか？
どんなところで繁殖しているか？
どんな場所を好んでいるか？
などを知ることで良いことも悪いことも
人が人以外の生き物に与えてしまう影響を
知ることができると思います。

特定非営利活動法人 浜わらす スタッフ
活動地域：気仙沼市
活動内容：ビーチクリーン、特に子どもたちを
中心とした人と自然を繋げる活動

畠山 友美子 さん

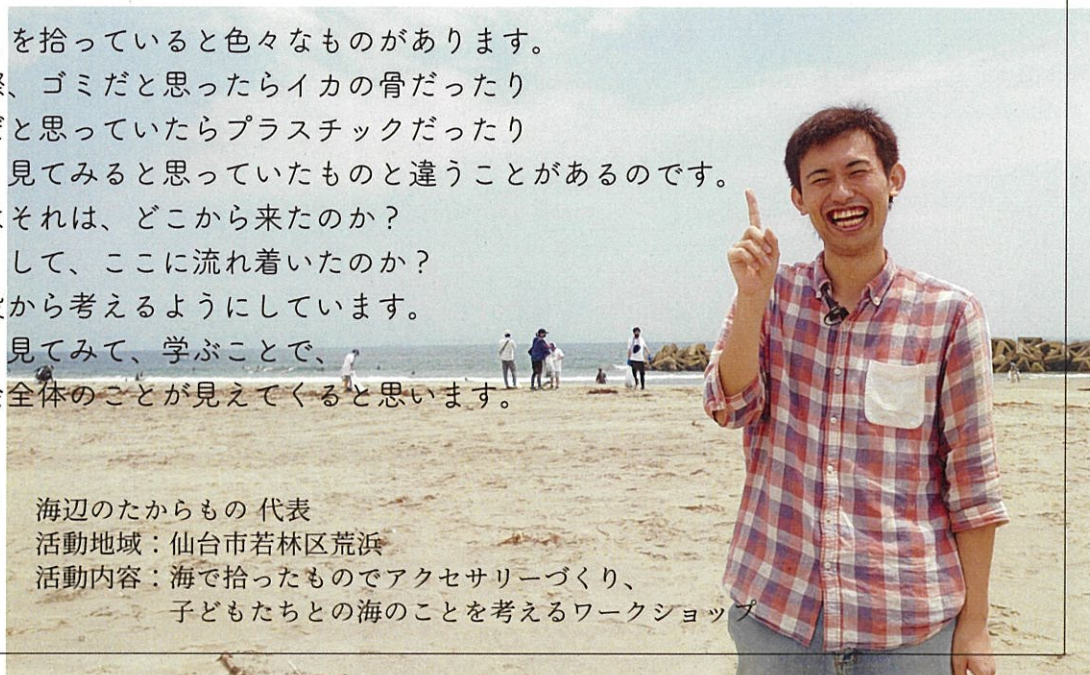


畠山 紳悟 さん

私が「今日から始めるワンアクション」は 海のゴミをよく見てみる

ゴミを拾っていると色々なものがあります。
実際、ゴミだと思ったらイカの骨だったり
石だと思っていたらプラスチックだったり
よく見てみると思っていたものと違うことがあるのです。
ではそれは、どこから来たのか？
どうして、ここに流れ着いたのか？
普段から考えるようにしています。
よく見てみて、学ぶことで、
社会全体のことが見えてくると思います。

海辺のたからもの 代表
活動地域：仙台市若林区荒浜
活動内容：海で拾ったものでアクセサリーづくり、
子どもたちとの海のことを考えるワークショップ



One
ACTION
START TODAY

私が「今日から始めるワンアクション」は 海の水を災害時に活用する

私たちは普段、海のゴミを拾っています。
拾って来たペットボトルに
清潔なマスクを使用し
海水を注ぎ、濾過することで
災害時の「手洗い水」などに
活用することができます。

NPO 法人 海族 DMC
活動地域：亘理町荒浜 鳥の海
活動内容：子どもたちに海の楽しさを知って
もらうマリンレジャーを推進

太見 洋介 さん



みやぎ海つなぎアクション2021とは？

つ
な
ぎ
。

2020年、私たちは「海と人とを繋ぐ」ということを大切に活動している宮城県の市民団体を海岸線で繋ぎ意見交換をし課題解決への第一歩とするオンラインカンファレンスを行いました。今年10月に「第40回全国豊かな海づくり大会」が開催されることをキッカケにふるさとの海の豊かさを改めて見つめ直しながら「みやぎ海つなぎアクション2021」をスタートすることとなりました。

「みやぎ海つなぎアクション2021」では、海岸の美化活動に取り組んできた団体が各自の課題を共有し、関係自治体や団体、民間企業などと連携、地元新聞社が参画することで各方面のご協力を仰ぎつつ海をとりまく諸問題の解決に向けた道筋を探る活動を継続的に実施していくアクションです。

「あなた」と「海」・「あなた」と「社会」をつなぐ。

「地域」と「地域」・「海」と「山」をつなぐ。

「あの日」と「今」と「未来」をつなぐ。

みやぎ海岸美化協議会とは？

私たちは暮らしの中で「海と人とを繋ぐ」ということを大切に東日本大震災からの10年を歩んできました。

それは、「海」と「人」が、再び優しく関わり合う関係を取り戻したいと思っていたからです。

宮城県の各沿岸部には、同じ想いで活動している市民団体がいくつも存在します。

当初は膨大な震災ごみの撤去や処理に直面した活動と地域の復興に向けた活動を続けていました。

近年は各団体が、地域との密接な関わり合いから独自の課題を見つけ出し、その問題を解決する動きに変わってきています。

その中で、共通する課題が、流木や漁具、海洋プラスチックなど、海ごみ処理に要する費用や体制の不備など、地域だけでは解決できない困難な課題でした。

そこで、私たちは【みやぎ海岸美化協議会】として自治体や民間企業、地元報道機関も一体となり、沿岸部の団体を繋ぎ、情報共有と各地域に落とし込んだ環境教育を通して課題を解決しまた「海と人とを繋ぐ」ことを目指します。

これにより広く問題が自分ごととして認識され、暮らしを変化させる機運が人の輪として定着するよう活動を繰り広げて参ります。

つ
た
え
る
。

海と日本 PROJECT とは？

子どもたちを中心に海への関心や好奇心を喚起し、
海の問題解決に向けたアクションの輪を広げることを目的に
日本財団や政府の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

5つのアクション

【アクション A：海を学ぼう】



いま海で起きていることは、未来とつながっている。
長い年月の中で伝承されてきた海の知恵は、人生を豊かにする、たくさんの気づきとつながっている。
私たちは、海に支えられ、海に生かされている。そのつながりが理解できれば、きっと行動が変わる。
海を学ぶとは、“海と自分とのつながり”を感じることに。

【アクション B：海をキレイにしよう】



海にはさまざまなものが流れ着く。海でゴミ拾いをすると、たくさんの驚きと発見に出会う。
ひとりではなく、多くの人と一緒にゴミ拾いをすると、キレイになった砂浜を見て、達成感を分かち
合えるばかりか、海とのかかわり方について、それぞれが考えるようになる。
海をキレイにするとは、出会いと喜びを創造すること。

【アクション C：海を味わおう】



普段、何気なく口にする海の食べもの。それらは一体、どこからやってくるのか。
今こそ私たちは、海の資源は有限であると知る必要がある。ひとつの料理の背景には、地域の風土に
培われた漁業文化がある。私たちはいつの時代も、これからも、海の命に生かされている。
海を味わうとは、海の恩恵に深く感謝すること。

【アクション D：海を体験しよう】



最近、海に行っただろうか。いま日常に開放感が足りないなら、海へ行こう。
誰もが時間を忘れ、真っ黒になるまで日焼けをして、クタクタになるまで海で遊ぶ。
海には、自分を解き放つワクワクと冒険がある。海を体験するとは、海の感動を分かち合うこと。

【アクション E：海を表現しよう】



目を閉じて、海の情景をイメージしてみる。どこまでも広がる青、寄せては返す波音、心地よい潮風。
まっさらになった心に、みずみずしい好奇心が満ちていく。
心に広がる想像力は、いつか見た懐かしい夢を紡ぎだす。海には誰をも表現者に変える力がある。
海を表現するとは、海から創造する力を手に入れること。



All For Ocean...

人、生物、日本、世界、地球、すべての人々が幸せでありますように